

G1—29—

# 基礎能力

## 試験問題

### 注意事項

1. 問題は **40 題(38 ページ)**で、解答時間は **2 時間 20 分**です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

現在の日本社会は、社会保障制度の議論のなかで、さまざまな難問に直面しています。そこには二つの要素が存在しています。ひとつは、「利用者とサービス提供者の間で、費用負担とサービス提供における循環がきちんと成り立っているか」「そうした循環について、国民や社会が共通の理解をしているのか」ということです。そこで理解が得られなければ、循環の輪は切れてしまい、いくら高邁な理想を掲げても成り立たなくなってしまうのです。

もうひとつは、「循環が成り立つために必要な財源が確保できているのか」ということです。そこで議論としては、「総体としての費用がより必要ならば、制度による負担を増やすべきではないか」という意見もあるし、「総体の費用を抑えなければ、循環そのものが成り立たなくなってしまう」といった意見もあるでしょう。

しかしながら、制度はただ単に循環を成り立たせるために存在しているわけではありません。利用者に対するサービスの提供を成り立たせるために制度が活用されて初めて、利用者と提供者の間の循環が生まれるのです。この循環が成り立たなくなれば、制度が成り立たなくなる可能性もあります。そして、制度が成り立たなくなれば、福祉サービスそのものが担えなくなってしまうのです。

換言すれば、制度を成り立たせるためには、利用者とサービス提供者との間の循環を成り立たせるしかありません。しかしながら、社会に暮らすすべての人がこのことに納得しているのでしょうか。ひょっとしたら、誰一人として納得していないかもしれません。そうしたときに、循環をつぶすのではなく、どうしたら循環が成り立つよう納得してもらえるのか。そこで生まれてくる命題は、「皆が仲間だ」と思えるような社会にしていかなければならないということです。

「皆が仲間だと思える社会」を実現すること、その下支えとしての制度がきちんと設計され運用されていることは、筆者の願望であり希望でもあります。これは、“実践から生まれた哲学”であり、いま、まさに求められていることだろうと思います。従来の社会福祉の分野は、“困ったときは相身互い”といった環境のなかで循環を保とうとしてきました。しかし、現在では、その循環を成り立たせるために、制度そのものがきちんと構築されていなければならないのです。

1. 従来の福祉サービスでは、利用者とサービス提供者との間で費用とサービス内容の契約を結ぶことによって、福祉サービスを維持することが重視されていた。
2. 社会保障制度は、掲げられる理想が高ければ高いほど、制度による負担について国民や社会からの理解を得やすいため、制度の維持が可能になる。
3. 高齢化が著しい現在の日本では、社会保障制度について、全体の費用を抑えることで費用負担とサービス提供における循環を保つ考え方が主流である。
4. 利用者がサービスを受けられるようにするために社会保障制度が活用されなければ、費用負担とサービス提供における循環が成り立たず、制度も成り立たない可能性がある。
5. 皆が仲間だと思える社会を実現するためには、社会の構成員全員が納得するサービスに焦点を絞ることによって成り立っている循環を保つよう、制度が構築される必要がある。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

芸術は独創的なものだ、という。独創的でなければならぬ、ともいう。

が、絵でも彫刻でも音楽でも舞踊でも演劇でも、なにからなにまですべて独創的だということはありえない。独創的なところが目につきやすいからそう思えるだけで、独創の反対概念が模倣だとすれば、独創は模倣のうえにしかなりたたない。模倣に徹しきることによって既存のものを超えるような作品もまた、独創的と呼ぶに値する。伝統のおそろしさは、そういう模倣を強制し、また可能にするところにある。伝統を生かすということは、伝統を超えるというまさにその努力において伝統にふかく交わり、その交わりのなかであらたな伝統をつくりだしていくということとべつのことではない。いい加減な模倣からはいい加減な独創しか生まれず、いい加減な独創はいい加減な模倣に満足する、というのが古今に変わらぬ芸術上の真理で、そういう独創や模倣は、伝統を支えることもつくりかえることもなく、伝統のなかに埋もれていくだけだ。もっとも反伝統的に見えるものももっとも伝統的であるという逆説は、芸術の世界ではめずらしいものではない。後期セザンヌの連作「サント・ヴィクトワール山」における独創は、印象派に一定の集約を見た絵画の伝統に身を浸し、それを技術的にも思想的にもくぐりぬけることによってはじめて得られたものだ。人間が時代の子だというヘーゲルの名言は、芸術にも、いや芸術だからこそいっそうよく、当てはまる。

詩や小説など、言語の芸術についても事情は変わらない。時代を超える詩や小説は時代にふかくかかわることによってしか生まれえない。既存のものを真に超克するには、これを単純に否定するのではなく、自己のうちに否定的に生かしつつさらなる高次の段階にむかわねばならない、と力説したのはヘーゲルだったが、詩や小説は既往の文学的現実をたいし、まさにこれを否定的に生かしつつ、さらなる高次の段階にむかうことによって芸術的な自立性を獲得するのである。

芸術的な自立を志向する文学者たちは、みずからの言語表現のありようをふかく省察せざるをえない。現実を文学的に克服するとは、なによりもまず、表現にかかわる問題なのだから。言語表現が、ひろい意味での現実世界を超えた独自の価値を提起しうるか否か、もっといえば、独自の価値として存在しうるか否かが、文学が文学として自立しうるか否かの基本条件だといってよい。

1. 独創は模倣の上に成り立つものであり、独創的と呼ぶに値する芸術作品は、模倣しきれなかった部分を新たに創作することで生み出される。
2. 伝統を超えるためには、伝統を徹底的に模倣し、その中から新たな伝統を作り出すことが必要であり、その方法によってのみ伝統が生かされる。
3. いい加減な模倣からはいい加減な独創しか生まれえないのは芸術上の普遍的な真理であるが、そのような独創や模倣であっても、伝統を作り替えることができる。
4. 時代を超える詩や小説は、時代に深く関わることによってのみ生まれ、既存のものを超えるためには、これを否定的に生かしつつ高次の段階に向かう必要がある。
5. 文学者たちは、芸術的な自立を目指して、現実とかけ離れた空想的な世界で、自らの言語表現が独自の価値として存在し得るか否かを深く省察している。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

建築や都市を計画し、設計する過程では、あらゆる場面に「数」が介在している。数えること、計測すること、計算を行うことは、数なしに成り立たない行為である。人類は数を手段とすることで齟齬のない計画をつくり上げ、壮大な規模をもつとともに精緻な建築群を生みつづけてきた。数は手段にすぎないが、数のふるまいをよく理解することなしには、都市や建築を計画し、つくり続けることは不可能であった。しかし遺構のなかに、それらを生み出した設計の方法を探ろうとするとき、方法の特質を、数を扱う技法の一種であるとみて、あらためて検討されたことは皆無である。その原因は、古代の数を扱う世界といえども、私たちと同じ数学——素朴なものであるにしても——を用いていたという、疑われることのない前提があり、検討すべき問題として認識されることがなかったためである。つまり数学は普遍性を持ち、時空間を超えた存在と捉えられてきたためである。

しかし数の捉え方、扱い方は、文明や文化、時代によって少しずつ異なっていた可能性がある。たとえば古代では、数はただちに自然数、正の整数だけを意味しており、私たちが当然のことと考えている分数や小数の概念は、独特なものであり、限られた地域にしか存在しなかった。小数はメソポタミア以外では見られず、ピタゴラス学派の「数学」は分数を認めようとしなかったのである。もっとも、メソポタミアの「小数」は、私たちが考える小数と同じものとみるのにためらいを感ずるものであるし、古代ギリシアの「数学」が認めなかった「分数」も、私たちの一般分数とは異なるエジプト風の「単位分数」であった。

数の概念すら、私たちと異質なものであったのだから、これを扱う態度や考え方に、私たちの常識と異なる性格が含まれていたとしても不思議ではない。そればかりでなく、私たちが当然と思えるような現実と数の関係、つまり対象を数として捉えるという行為のなかに、大きな違いが含まれていることも予想される。これらは数に注目しているだけでは理解できず、行為の文脈、つまり技術の様相を俯瞰しつつ判断すべきものである。

1. 建築計画や都市計画に基づく設計に当たり、精緻な建築群を生み続けるためには、数学に普遍性を持たせなければならないという認識があった。
2. 遺構が建築された古代においては、小数や分数といった数の概念が文明や文化によって異なっていたが、設計方法は共通していた。
3. 遺構が建築された当時の設計方法がこれまで検討されてこなかったのは、現代と異なる数の概念が古代の建築や都市の計画時に用いられていたためである。
4. 古代の遺構の設計技術の様相を俯瞰するには、数の捉え方や対象の捉え方について、現代と比較し、相違点を見付ける必要がある。
5. 遺構が建築された当時の数の概念は、現代のそれとは異質であり、数を扱う態度や考え方も現代の常識と異なる性格を持つことが推測できる。

【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

物語は、言語がしばしばそう言われてきたのと同様、小説の素材です。ただし、言語が発話者の意のままにひねり回されることを拒絶するのと同様、物語も好きな形に捏ね上げられる訳ではありません。物語の展開もそうですし、そこから引き出される記述も同様です。

創作という行為は、蠟の上に印を押して形を刻むように、頭の中の<sup>アイデア</sup>観念を素材に押し付けて形作ることだ、という勘違いは、実作者には何の役にも立ちません。というより、これは創作という行為と接点を持たない人間の空想だと言ってもいいでしょう。素材には性質があり、方向性があります。ごく通常の創作においても、まず観念があり、それから素材を見繕って、観念に沿うよう形作る、ということはほとんどないでしょう。おそらく、素材に直面した瞬間、観念は調整を余儀なくされるでしょうし、それに続く作業の間も、形成されつつある形と素材を見ながら、観念は調整され続ける筈です。もっとありそうなのは、素材の出現と観念の出現が同時に起ることです。その場合でも、素材の声を聞き、素材の要求に耳を傾け、素材の反応を確かめながらでなければ、何一つ完成することはできません。

ただしこれは、素材の言いなりになる、ということではありません。小説の場合は特に顕著ですが、怪しげな言霊信仰、お筆先信仰で物語を野放しにして、ろくな作品ができた例はありません。無意識を信奉するものかどうかと思います。無意識とは言語の廃棄物の投棄現場なりとする心理学が正しいとしたら、そんなところから出て来るものがどうしようもなく紋切り型で凡庸なのは、結果を見るまでもなく明らかです。ただ、言語や概念が人間の頭の中に、配管工事業者の倉庫のように詰まっているとすると、棚の間に転げ落ちたジョイントやパイプが、夜中に勝手に転げ回っては無意味な配管を組み上げていると想像することは、ある妥当性を持っているような気がします。かつて耳にした言葉や、目にした物や、偶発的な事物の連鎖や、生まれて以来流し込まれ続けたフィクションの型などが、頭の中で勝手に動き回り、合うというだけの理由で繋がって、半分水に浸かっただま錆びている訳です。使えるか、といえば、使えはしません。が、この種の惰性で動くだけのものは、素材や観念に投影されて見えることがしばしばです。採用するか、排除するか——これは純審美的に判断されるべき問題でしょうし、その上で、なかなかいいし、可能だ、ということになれば、用心しいしい使えばいいのです。

1. 物語は好きな形に捏ね上げられるわけではないが、素材の持つ性質や方向性に無意識に従えば、実作者の観念のままに形作ることができるようになる。
2. 創作とは、創作という行為と接点を持たない人間にとっては、素材を観念に押し付けて形作ることであるが、実作者にとっては、観念を素材に押し付けて形作ることである。
3. 小説の創作においては、素材の言いなりになることで別の観念が生み出されるが、それを採用するか否かは、実作者によって純審美的に判断されるべき問題である。
4. 頭の片隅に投棄物のように転げ落ちた言語や概念が、勝手に転げ回っているうちに紋切り型でない物語へ生まれ変わると想像することは、妥当性を持っている。
5. かつて耳にした言葉や目にした物などが合体し、素材や観念に投影されて見えることがあるが、そのようなものも判断によっては創作に使用される。

【No. 5】 次の  の文の後に、A～Fを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

トレードオフの関係とは、「両立しない関係」のことを指す。通常、ある利益を得ようとするれば、別の利益を犠牲にしなければならない。

- A：すなわち、ただ乗りを禁じて発明による利益を発明者に帰属させるしくみである。発明に向けた活動が行われれば、発明者その人にとっても利益になるばかりでなく、産業の発展にも寄与するだろう。
- B：このトレードオフの概念は、法律家にとっては決して馴染みのない概念ではない。そう意識しているにせよいないにせよ、法律家は長らくトレードオフの問題と闘ってきている。
- C：そのように考えると、法制度の多くはトレードオフに対処するための試みと位置づけられる。特許法を例にして簡単に説明しておこう。特許法は、発明者の権利を保護することを通じ、発明へのインセンティブを人々に与える制度だ、と一般に言われる。
- D：法理論にもトレードオフは登場する。いわゆる「利益衡量」の考え方は、対立する諸利益を比較したうえでより大きい利益をもたらす選択肢を支持するアプローチであり、実質的にはトレードオフの話と同じである。不可侵の価値や通約不可能な価値を認めない限りは、事あるごとにトレードオフの関係とつきあうことになろう。
- E：もしかすると、他の分野に従事している人たちよりもずっと多様な種類のトレードオフの問題に悩まされてきたのかもしれない。裁判官は、原告と被告のどちらを勝たせるかというトレードオフに直面する。弁護士は、相手方に対してなしうる主張のうちのいずれを展開するかというトレードオフに直面する。
- F：たとえば、引っ越しのアルバイトでお金を稼ごうとすると、同じ時間帯に勉強することは放棄せざるをえなくなる。トレードオフの関係においては、一方の目標値を上げると別の目標値は下がる。

1. C→A→B→E→F→D
2. C→D→A→F→E→B
3. F→B→E→D→C→A
4. F→C→A→D→E→B
5. F→C→B→A→D→E

【No. 6】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

「世間」と社会の違いは、「世間」が日本人にとっては変えられないものとされ、所与とされている点である。社会は改革が可能であり、変革しうるものとされているが、「世間」を変えるという発想はない。近代的システムのもとでは社会改革の思想が語られるが、他方で「なにも変わりはない」という諦念が人々を支配しているのは、歴史的・伝統的システムのもとで変えられないものとしての「世間」が支配しているためである。

「世間」が日本人にとってもっている意味は以上で尽きるわけではない。「世間」は日本人にとってある意味で所与と考えられていたから、「世間」を変えるという発想は全く見られなかった。明治以降わが国に導入された社会という概念においては、西欧ですでに個人との関係が確立されていたから、個人の意志が結集されれば社会を変えることができるという道筋は示されていた。しかし「世間」については、そのような道筋は全く示されたことがなく、 と受けとめられていた。

したがって「世間」を変えるという発想は生まれず、改革や革命という発想も生まれえなかった。日本人が社会科学的思考を長い間もてなかった背景にはこのような「世間」意識が働いていたからなのであり、わが国の社会科学の歴史を描くにはこの「世間」意識の影響を無視してはならない。日本の歴史の中で、大化の改新と明治維新、そして第二次世界大戦の敗北とその後の改革は、すべて外圧から始まった改革であり、自ら社会改革の理想に燃えた努力の結果ではなかった。わが国の社会科学が自らの明治以降の展開を十分に描くことができなかつたのは、まさに歴史的・伝統的なシステムを無視して近代史を描こうとしたところから生じている。

1. 社会という概念もないため、個人の意志を結集することはできないもの
2. 西欧からの外圧をもってしても日本人の中では「なにも変わりはない」
3. 独自に社会を変えることで「世間」を変えることもできるのではないか
4. 「近代的システム」と同様に人工的に構築され、社会とともに変革されるべきもの
5. 「世間」は天から与えられたもののごとく個人の意志ではどうにもならないもの

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

They don't require yoga pants or a shower, but the research is clear: Walking meetings count as exercise.

“If corporations were to adopt this ubiquitously, you just start to think of those health benefits adding up,” says James Levine, co-director of obesity solutions at the Mayo Clinic and Arizona State University. “It’s an amazingly simple thing and it costs nothing.”

Walking meetings are typically held with two or three people over a set route and period — often 30 minutes. They can take place at a nearby park or even in office hallways. Some people are using walking meetings to boost their daily step counts. Others are spurred by mounting research on the physical and mental benefits of being more mobile at work.

One of the few studies on walking meetings demonstrated their potential. The three-week study, co-written by Dr. Alberto J. Caban-Martinez, a physician and scientist at the University of Miami, showed a 10-minute gain among the 17 participants in weekly physical activity after they added walking meetings.

The more participants engaged in moderate physical activity at work, the less likely they were to miss work for health reasons, according to the study, published in the journal Preventing Chronic Disease. Being sedentary<sup>\*1</sup> for long stretches is linked with obesity, Type 2 diabetes<sup>\*2</sup> and a range of other conditions.

Most Americans get less than the recommended 150 minutes a week of moderate-intensity aerobic activity, such as brisk walking. Previous studies have shown that walking for as little as 15 minutes a day can add up to three years of life expectancy. The 2015 federal dietary guidelines suggested people use walking meetings to increase physical activity.

Meetings, phone calls and email have come to consume more than 90% of the working time of managers and some other workers, such as consultants. Many of those meetings and calls could be conducted while walking, experts say.

Although standing desks have received attention in recent years, standing burns scarcely more calories than sitting, according to a study of 74 people by researchers at the University of Pittsburgh. The study found that walking for 15 minutes burns an average of 56 calories, compared with 20 calories for sitting at a laptop computer and 22 for standing.

(注) \*1 sedentary : 座りっぱなしの \*2 diabetes : 糖尿病

1. 運動を兼ねて歩きながら会議を行うと、コストをかけずに、立ったまま作業を行うのと同程度のカロリーを消費する。
2. 歩きながら行う会議は、一般的に2，3人で行われ、これを会社で導入すれば、健康上の利益の増加につながるという意見がある。
3. 研究によると、座ったままストレッチをするよりも、近くの公園や社内の廊下で運動する方が、肉体的にも精神的にも健康に良いことが分かった。
4. 研究によると、歩きながら行う会議を1日15分以上行うと肥満や糖尿病などになりにくいことが分かった。
5. 仕事中に歩きながら会議や電話を行っている者の9割が、経営者やコンサルタントのような職種の者である。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Grayson Barnes had just started working at his father's law firm a year and a half ago when a message popped up on one of his computer screens: all the files on the firm's network had been encrypted\* and were being held hostage. If Barnes ever wanted to see them again, he'd have to pay \$500 in the Internet currency Bitcoin within a few days. If he didn't, everything would be destroyed. "It wasn't just a day's worth of work," Barnes says. "It was the entire library of documents."

Barnes called the police and then the FBI, but the investigators he spoke to told him there was nothing they could do. If he paid, there was no guarantee he'd get the files back. If he didn't, there was little chance of pressing criminal charges, since many hackers live abroad. Two days later, his firm paid up and the files were unlocked.

This, says Juan Guerrero, a senior security researcher, is why so-called ransomware attacks have become ubiquitous in the past two years. From a criminal's perspective, they're low budget and have a high success rate. Instead of going after high-value, heavily fortified systems, like those of banks or other corporations, ransomware allows even low-skill hackers to go after easy targets: small businesses, schools, hospitals and average PC users.

Cybersecurity experts estimate that there are now several million such attacks per year on American computers. The House of Representatives was targeted in May, and in recent months ransomware has shut down at least three health care centers, including a Los Angeles hospital that ultimately paid roughly \$17,000 to regain access to its patients' records. School districts and even police departments are increasingly being hit.

While law-enforcement officials have the tools to remove some ransomware, in most cases, users like Barnes find themselves stuck between two bad options. Barnes says he and his colleagues are now better prepared. "Everything is backed up now," he adds. "It's not happening again."

(注) \* encrypt : (データ)を暗号化する

1. Barnes の勤務先のコンピュータネットワークに侵入し、ファイルを消去するような攻撃を加えた者の目的は、コンピュータ内の個人情報を盗み取ることであった。
2. Barnes の勤務先はランサムウェアによる攻撃を受けたとき、犯人の要求に応じたが、今では、Barnes たちはデータのバックアップを取っており、攻撃に対して備えができています。
3. 犯罪者にとって、ランサムウェアを使った攻撃は、高額な費用や高いハッキングの技術を必要とするが、攻撃を高い確率で成功させることができる。
4. 上級セキュリティ研究者によれば、ランサムウェアによる攻撃は、銀行や小規模事業者、個人などよりも、学校や病院、警察といった公的機関が対象になりやすいという。
5. 警察はランサムウェアを取り除くソフトウェアを開発し、ランサムウェアによる事件を解決できるようになったが、多くの場合、被害者はハッカーの要求に従ってしまう。

【No. 9】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The share of people living in poverty around the world has dropped in the past three decades, but over a quarter of the world's population still doesn't earn enough to have reliable access to food. And a billion people are extremely poor, earning less than \$1.25 a day.

That's according to the United Nations' Food and Agriculture Organization's (FAO) 2015 State of Food and Agriculture report. The report finds marked improvements in some areas — including parts of Asia, where urbanization and economic growth have been significant in recent decades. But it also shows that poverty persists across the developing world, and sub-Saharan Africa, where almost half the population is extremely poor, continues to struggle.

《中 略》

The Zambia Child Grant program is one example of successful social assistance. In areas with the highest rates of extreme poverty and child mortality, the program gives money to households with children under five years old. This measure has improved food security throughout the country, since beneficiaries have expanded agricultural production on their lands.

Targeting rural areas for social protections is strategic, since most of the world's poor live in rural areas where a majority of people work in agriculture. The poor rely on agriculture for their livelihoods and spend a large portion of their incomes on food, says FAO economist André Croppenstedt. That's why investing in agriculture is key to addressing poverty and hunger.

Other economic growth spurs agricultural development, too, Croppenstedt says. As incomes and food demand rise in rapidly growing cities, so too does agricultural productivity. More infrastructure investments in rural areas help improve output too.

1. 貧困で苦しむ人々の割合は、過去 30 年で急増しており、世界のおよそ 4 分の 1 以上の国において、十分な食料を買うための収入がない人々に対する支援が課題となっている。
2. 2015 年の国連食糧農業機関(FAO)報告書によれば、現在、急激な経済成長に伴う所得格差が広がっているアジアや、発展途上国のサハラ以南のアフリカにおいて、貧困層が拡大している。
3. ザンビアでは、5 歳以下の子どもが住む農家に対し、子どもの養育係を雇用するための手当を支給したことで、農家が農業に専念できるようになり、農業生産性が向上した。
4. 世界の貧困層の多くは、人々の大半が農業に従事している地域に住んでいるため、農村を支援することが重要であり、農業への投資は貧困対策や飢餓対策への鍵となる。
5. 農村を発展させ、貧困をなくすためには、公共事業を行うことによって農村に住む人々の収入を向上させ、農村の人口を増加させることが重要である。

【No. 10】 次の  の文の後に、ア～オを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

In face-to-face conversations, in the absence of pencil and paper, the Japanese resort to pantomime: they use the right index finger as a ‘pencil’ to ‘write’ the kanji in the air or on the palm of the left hand. But often this too fails, and a person must use an appropriate common word as a label for the kanji.

ア：No wonder, then, that in 1928 George Sansom, an authority on Japan, remarked of its writing system: ‘There is no doubt that it provides for a fascinating field of study, but as a practical instrument it is surely without inferiors.’

イ：For example, of the dozens of kanji that can be read *to*, only one can also stand for the noun ‘*higashi*’ (‘east’); this character is then readily labelled as *higashi to iu ji*, ‘the character *higashi*’.

ウ：When, however, a kanji has only one reading, and you wish to describe it, you have a problem. To identify the kanji that stands for *to* in ‘*sato*’ (‘sugar’), you cannot do much more than to say something like, ‘It’s the one used in the last syllable of the word for sugar.’

エ：A modern authority, J. Marshall Unger, added recently: ‘In a broad sense, over the centuries, Japanese script has “worked”. Japanese culture has not flourished *because of* the complexities of its writing system, but it has undeniably flourished in spite of them.’

オ：If that does not trigger the memory of the person you are talking to, you must go back to the shape: ‘It’s the kanji with the “rice” radical on the left, and the tang of “Tang\* dynasty” on the right.’

(注) \* Tang：唐(中国の王朝)

1. ア→イ→オ→ウ→エ
2. ア→エ→ウ→オ→イ
3. イ→ウ→オ→ア→エ
4. イ→オ→ア→エ→ウ
5. イ→オ→ウ→エ→ア

【No. 11】 次の文のア、イに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

The world's population is becoming increasingly urban. Sometime in 2007 is usually reckoned to be the turning point when city dwellers formed  for the first time in history. Today, the trend toward urbanisation continues: as of 2014, it's thought that 54% of the world's population lives in cities — and it's expected to reach 66% by 2050. Migration forms a significant, and often controversial, part of this urban population growth.

In fact, cities grow in three ways, which can be difficult to distinguish: through migration (whether it's internal migration from rural to urban areas, or international migration between countries); the natural growth of the city's population; and the reclassification of nearby non-urban districts. Although migration is only responsible for one share of this growth, it varies widely from country to country.

In some places, particularly in poorer countries, migration is the main driver of urbanisation. In 2009, UN Habitat estimated that three million people were moving to cities every week. In global gateway cities such as Sydney, London and New York, migrants make up over a third of the population. The proportion in Brussels and Dubai is .

The 2015 World Migration Report (WMR) by the International Organisation for Migration argued that this mass movement of people is widely overlooked amid the global concern about urbanisation. And the report considers the widespread challenges, in terms of service provision, for the growing numbers of people moving into cities around the world.

ア

イ

- |                                          |                                                                                   |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1. the majority of the global population | even greater, with migrants accounting for more than half of the population       |
| 2. the majority of the global population | even greater, with children accounting for more than half of the population       |
| 3. the majority of the global population | extremely small, with tourists accounting for less than a tenth of the population |
| 4. the minority of the global population | even greater, with tourists accounting for more than half of the population       |
| 5. the minority of the global population | extremely small, with migrants accounting for less than a tenth of the population |

【No. 12】 次の推論A～Dのうち、論理的に正しいもののみを挙げているのはどれか。

A：ある会社の売店は、梅干し、昆布、明太子の3種類のおにぎりを、客1人につき2個選択させる方法で販売し、計180個を完売した。梅干しを購入した客のうち56人が昆布を購入しており、かつ、昆布を購入した客のうち20人が明太子を購入しているとき、同じ種類のおにぎりを2個購入した客は14人である。

B：ある会社の社員100人にリンゴ、ブドウ、ミカンのうち好きな果物を挙げさせたところ、リンゴを挙げた者が60人、ブドウを挙げた者が40人、ミカンを挙げた者が30人いた。3種類全てを挙げた者が10人、ちょうど2種類を挙げた者が20人いるとき、1種類も挙げなかった者は10人である。

C：ある会社の食堂のメニューは日替わりである。カレーライスとうどんの両方がある日にはオムライスもあり、焼きそばがない日にはうどんがない。さらに、魚定食がある日にはカレーライスがない。このとき、魚定食がある日には、うどんと焼きそばの両方がある、又は、オムライスがない。

D：ある会社の社員に対して終業後の習慣について尋ねたところ、終業後に買物をしている者は、終業後に運動をしていないが、終業後に社内で行われる勉強会に参加していない者は、終業後に運動をしていることが分かった。このとき、終業後に買物をしている者は、終業後に社内で行われる勉強会に参加している。

1. A, B
2. A, C
3. B, C
4. B, D
5. C, D

【No. 13】 ある高校の文化祭では、各クラスが、ホール、体育館、中庭のいずれかの場所で1回のみ発表を行った。また、複数のクラスが同じ場所で同時に発表を行うことはなかった。この文化祭に参加したA～Eの5人が、次のように述べているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、A～Eが各クラスの発表を見るときには、そのクラスの発表を最初から最後まで見るものとする。

A：「ホールで1年3組の発表を見た後、中庭で3年2組の発表を見た。」

B：「中庭で2年1組の発表を見た後、体育館で1年1組と3年3組の発表を1年1組、3年3組の順に見た。その後、ホールで2年2組の発表を見た。」

C：「ホールで3年1組と1年3組の発表を3年1組、1年3組の順に見た後、体育館で3年3組の発表を見た。」

D：「体育館で2年3組の発表を見た後、中庭で1年2組の発表を見た。その後、ホールで3年1組の発表を見た。」

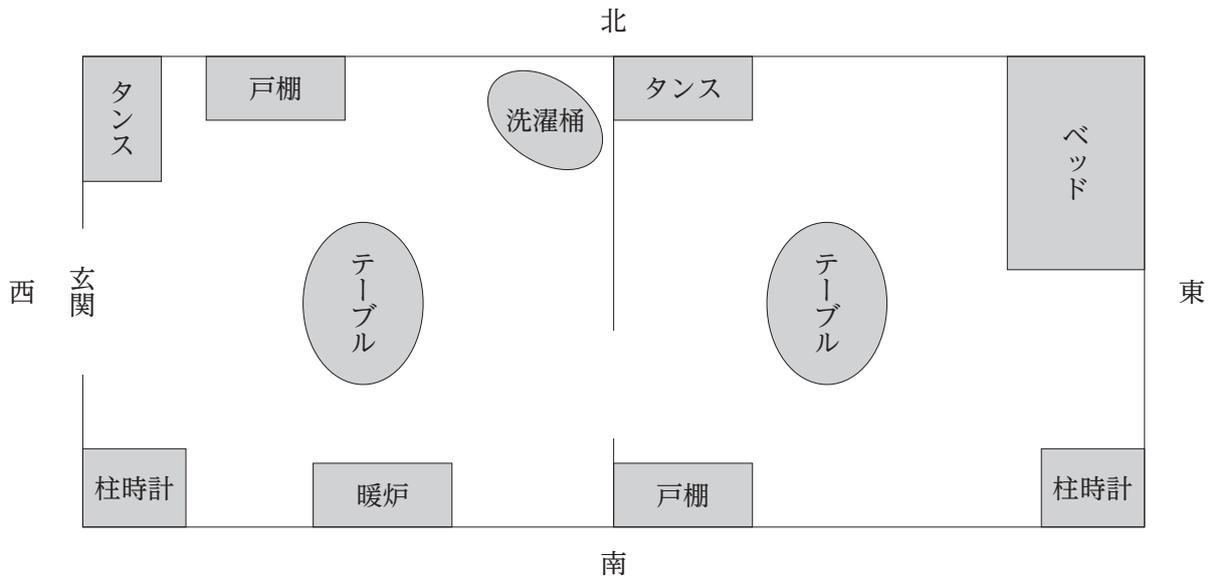
E：「中庭で3年2組の発表を見た後、ホールで2年2組の発表を見た。」

1. 1年2組の発表は、2年1組の発表より前に行われた。
2. 1年2組の発表は、3年2組の発表より前に行われた。
3. 2年1組の発表は、1年3組の発表より前に行われた。
4. 2年1組の発表は、3年2組の発表より前に行われた。
5. 3年3組の発表は、3年2組の発表より前に行われた。

【No. 14】 図のように家具等(タンス, 戸棚, 洗濯桶, ベッド, テーブル, 柱時計, 暖炉)が配置されている2部屋から成る家で, 7匹の子ヤギの兄弟が暮らしている。

ある日, この家にオオカミがやって来たので, 7匹の子ヤギの兄弟は家具等に隠れたが, うち6匹はオオカミに見付かってしまった。次のことが分かっているとき, 確実にいえるのはどれか。

ただし, 家具等一つにつき子ヤギは1匹しか隠れることができないものとする。



- 2部屋に共通して置かれている家具等のそれぞれについて, 一方の部屋の家具等に子ヤギが隠れている場合は, もう一方の部屋の家具等に子ヤギは隠れていなかった。
- 長男は, テーブルの下に隠れた。
- 次男は, 東側の部屋で隠れた。
- 三男と四男は, それぞれ別の部屋で隠れた。
- 五男は, テーブルよりも南側にある家具等に隠れた。
- 末っ子は, 柱時計に隠れており, オオカミには見付からなかった。
- オオカミは, 西側の部屋で4匹の子ヤギを, 東側の部屋で2匹の子ヤギを見付けた。

1. 長男は, 東側の部屋のテーブルの下に隠れた。
2. 次男は, 東側の部屋のタンスに隠れた。
3. 三男は東側の部屋で, 四男は西側の部屋で, それぞれ隠れた。
4. 五男は, 西側の部屋の暖炉に隠れた。
5. 末っ子は, 西側の部屋の柱時計に隠れた。

【No. 15】 ある小学校では、月～金曜日の夜間、校庭を地域の五つの団体A～Eに貸し出すこととなった。A～Eは借りる曜日の希望調査に対して、順位を付けずに二つの曜日を回答したところ、希望した二つの曜日のうちいずれかの曜日に借りることができた。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、同じ曜日に複数の団体に貸し出すことはなかったものとする。

- 月～金曜日のうち、四つの曜日は、希望した団体が複数あった。
- Aは、二つの曜日も、Dと同じ曜日を希望した。
- Bは、水曜日と金曜日を希望した。
- Cは、希望した曜日のうち、火曜日には借りることができなかった。
- Dは、水曜日に借りることができた。
- Eは、希望した曜日が、B及びCとそれぞれ一つずつ同じであった。

1. Aは、木曜日に借りることができた。
2. Dは、月曜日と水曜日を希望した。
3. Eは、火曜日と金曜日を希望した。
4. 水曜日を希望した団体は、A、B、D、Eであった。
5. 木曜日を希望した団体は、一つのみであった。

【No. 16】 A～Eの五つの箱があり、それぞれの箱にはラベルが1枚貼られている。箱とその箱に貼られているラベルの記述について調べてみると、空箱でないときは、ラベルの記述が正しく、事実と整合しており、空箱であるときは、ラベルの記述が誤っており、事実と反することが分かった。ラベルが次のとおりであるとき、A～Eのうち、空箱であると確実にいえるのはどれか。

Aのラベル：「C又はDは空箱である。」

Bのラベル：「Aが空箱であるならば、Cも空箱である。」

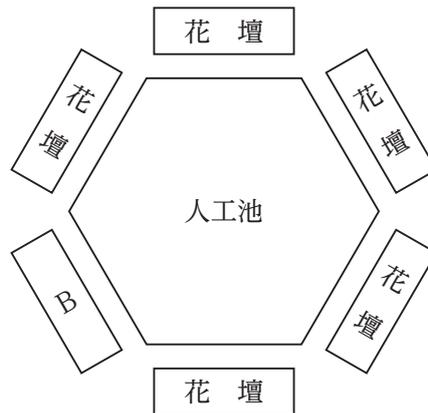
Cのラベル：「Dは空箱である。」

Dのラベル：「A及びBは空箱である。」

Eのラベル：「Dが空箱であるならば、Eは空箱でない。」

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

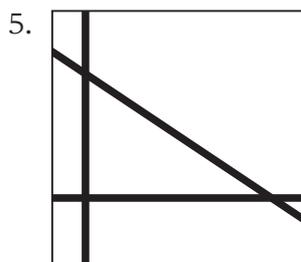
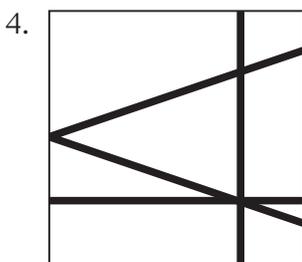
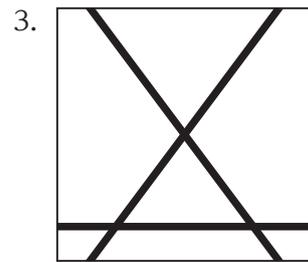
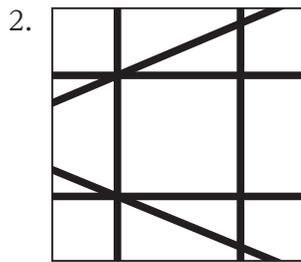
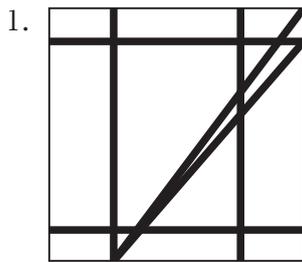
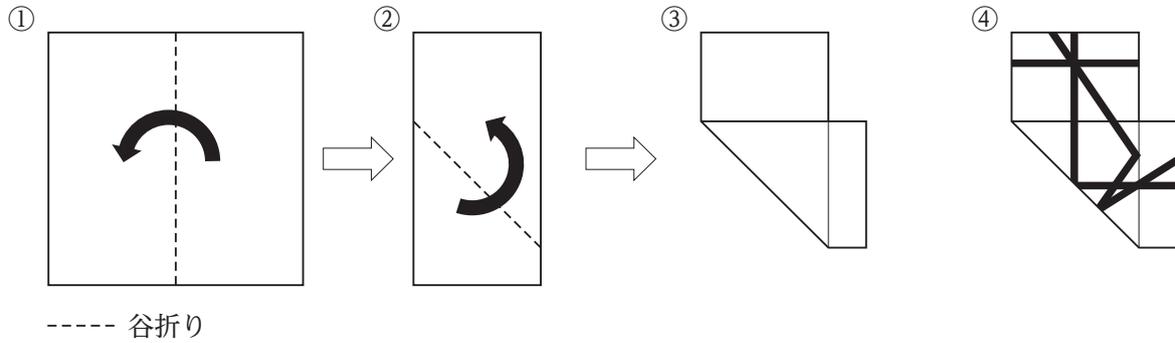
【No. 17】 図のように、正六角形の人工池の周囲にA～Fの六つの花壇があり、Bのみ位置が明らかにされている。六つの花壇には異なる色のバラがそれぞれ植えられており、色は赤、オレンジ、黄、白、ピンク、紫である。また、バラが咲く時期は色によって異なっており、さらに、バラの咲き方は色によって一重咲き又は八重咲きのいずれか一方となっている。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。



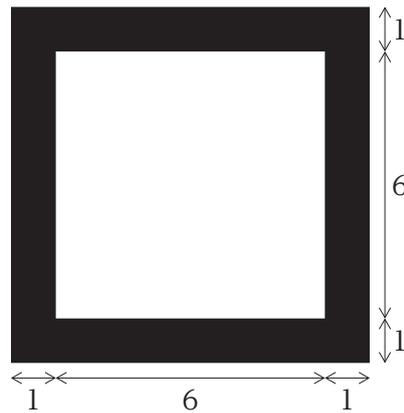
- Bは黄のバラ、人工池に向かってBの右隣の花壇は紫のバラ、更にその右隣の花壇は白のバラであった。
- 人工池に向かってDの右隣の花壇は、オレンジのバラであった。
- 人工池に向かって紫のバラの花壇の対岸にある花壇は、赤のバラであった。
- 最初にバラが咲いた花壇はA、4番目はD、5番目はEであり、また、最後に咲いたバラの色は赤であった。
- 黄のバラの直後に紫のバラが、更にその直後に白のバラが咲いた。
- オレンジのバラは、白のバラより後に咲いた。
- いずれの花壇も両隣の花壇と咲き方が異なっており、また、Bは一重咲きであった。

1. 最初に、Aにピンクの一重咲きのバラが咲いた。
2. 3番目に、Cにオレンジの八重咲きのバラが咲いた。
3. 4番目に、Dに白の一重咲きのバラが咲いた。
4. 5番目に、Eにピンクの八重咲きのバラが咲いた。
5. 最後に、Fに赤の八重咲きのバラが咲いた。

【No. 18】 正方形の透明なシートに、いくつかの直線が描かれている。③の形になるよう、このシートを、図のように①→②→③の順で破線部分で2回谷折りしたところ、④の様子が見えた。このとき、シートに描かれていた直線を表す図として最も妥当なのは、次のうちではどれか。ただし、シートは裏返さないものとする。



【No. 19】 一辺の長さが1で黒色の複数の小立方体を面と面とが合わさるように組み合わせてできる一つの立体に、十分遠くにある光源からの光を当てて、光に垂直な平面にできる影を観察したところ、立体を構成するいずれかの面に垂直な向きであればどの向きからの光であっても、図のような影ができることが分かった。このとき、A～Dのうち、確実にいえるもののみを全て挙げているのはどれか。



- A：条件を満たす立体のうち、少なくとも一つは、42個の小立方体を組み合わせて作ることができる。
- B：条件を満たす立体のうち、少なくとも一つは、82個の小立方体を組み合わせて作ることができる。
- C：条件を満たす立体のうち、少なくとも一つは、ある素数個の小立方体を組み合わせて作ることができる。
- D：条件を満たす立体は、どの立体も、偶数個の小立方体を組み合わせて作る必要がある。

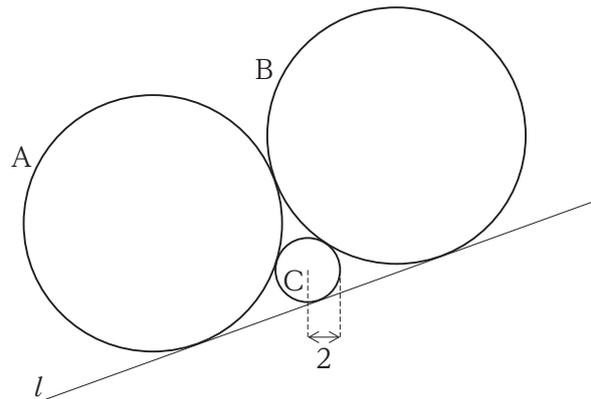
1. A
2. A, C
3. B
4. B, D
5. D

【No. 20】 A～Gの七つのバレーボールチームがある。Aは、B～Gの六つのチームと1試合ずつ対戦することとなっているが、過去の対戦成績から、Bに勝つ確率は $\frac{1}{3}$ であり、その他のチームに勝つ確率はいずれも $\frac{1}{2}$ であることが分かっている。このとき、Aが4勝以上する確率はいくらか。

ただし、試合には引き分けはないものとする。

1.  $\frac{7}{24}$
2.  $\frac{3}{8}$
3.  $\frac{11}{24}$
4.  $\frac{13}{24}$
5.  $\frac{5}{8}$

【No. 21】 図のように、円A、B、Cと直線*l*が互いに接している。円Aと円Bの半径が等しく、また、円Cの半径が2であるとき、円Aの半径はいくらか。



1.  $4\sqrt{3}$
2. 7
3. 8
4.  $6\sqrt{2}$
5. 9

【No. 22】 ある職場では、表のような消耗品を3回に分けて必要個数だけ購入した。

- 1回目は、クリアファイルを除く3種類の消耗品をそれぞれ1個以上購入し、合計金額は1,200円であった。
  - 2回目及び3回目は、共に4種類全ての消耗品をそれぞれ1個以上購入し、合計金額は、2回目が2,300円、3回目が1,500円であった。
- このとき、確実にいえるのはどれか。

消耗品	単価	必要個数
消しゴム	110円	7
付せん紙	170円	5
ガムテープ	290円	8
クリアファイル	530円	2

1. 1回目に消しゴムを2個購入した。
2. 1回目にガムテープを3個購入した。
3. 2回目に付せん紙を1個購入した。
4. 2回目にガムテープを3個購入した。
5. 3回目に消しゴムを1個購入した。

【No. 23】  $a^2 + ab + ac + bc - 315 = 0$  を満たす素数  $a, b, c$  の組合せは何通りか。  
ただし、 $a < b < c$  とする。

1. 1通り
2. 3通り
3. 5通り
4. 7通り
5. 9通り

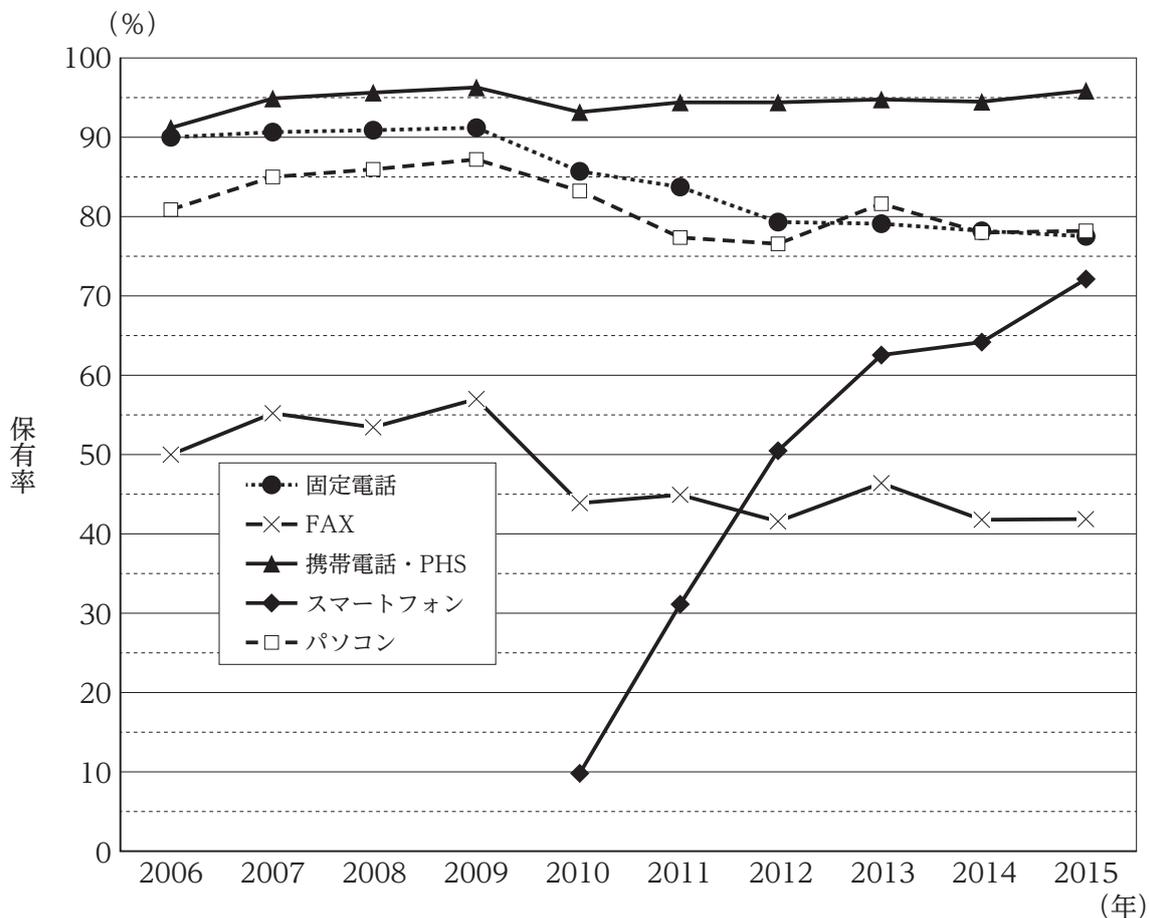
【No. 24】 ある二つの都市A, Bは, 毎年度初めに住民の統計調査を行っており, 昨年度は, Aに住むB出身者が15万人であり, また, Bの総人口に占めるB出身者の割合は74%であることが分かった。その後, 今年度の統計調査までに, ①Aに住むB出身者のうち3万人がBへ転居し, また, ②A, B以外の都市に住むB出身でない者のうち47万人がBへ転居した。この結果, 今年度のAの総人口は昨年度の95%となり, 今年度のBの総人口に占めるB出身者の割合は70%となった。このとき, 今年度の統計調査によると, Aの総人口とBの総人口の差は何万人か。

ただし, ①及び②以外を原因とする, A, Bの人口変動はないものとする。

1. 769万人
2. 775万人
3. 781万人
4. 787万人
5. 793万人

【No. 25】 図は、ある企業における、各年末時点での全社員の情報通信機器の保有率を調査した結果の推移を示したものである。これから確実にいえるのはどれか。

ただし、この企業の社員数は年ごとに変動があるものとする。



- 2006～2015年の間、いずれの年も、固定電話とパソコンを共に保有している社員が全社員に占める割合は、5割以上である。
- 2010～2014年の間、いずれの年も、固定電話を保有している社員数は、前年より減少している。
- 2010～2015年の間におけるスマートフォンを保有している社員数の最大は、同期間における固定電話又はパソコンを保有している社員数の最小を下回っている。
- 2011年におけるスマートフォンを保有している社員数は、前年と比べて、3倍を超えている。
- 2012～2015年の間、いずれの年も、FAXを保有している社員のうち半数以上は、スマートフォンを保有している。

【No. 26】 表は、全国及びA県における医療施設数、病床数の推移を示したものである。これから確実にいえるのはどれか。

(単位：施設，床)

区分		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年		
全 国	医療施設数	177,191	177,769	177,546		
	病床数	1,703,853	1,695,114	1,680,625		
A 県	医療 施設 数	総数	2,802	2,821	2,822	
		病院	一般診療所	1,616	1,627	1,626
			有床診療所	161	156	147
		無床診療所	1,455	1,471	1,479	
		歯科診療所	1,044	1,052	1,054	
		病 床 数	総数	27,637	27,501	27,210
	病院		25,500	25,473	25,265	
	一般診療所(有床診療所)		2,137	2,028	1,945	
	人口 10 万人 当たり	病院数	6.1	6.1	6.1	
		一般診療所数	69.5	69.9	69.8	
		病院病床数	1,096.8	1,094.2	1,085.3	
一般診療所(有床診療所)病床数		91.9	87.1	83.5		

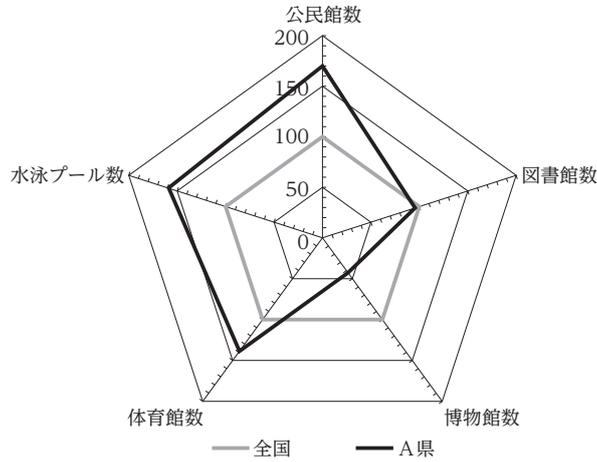
(注) 病床数は歯科診療所を除く。

- 平成 25, 26 年のいずれの年も、全国の病床数に占める A 県のその割合は、前年に比べ増加している。
- 平成 26 年における全国の医療施設数に占める A 県のその割合は、2 % 以上である。
- 平成 26 年における A 県の病床数の対前年減少率は、一般診療所(有床診療所)より病院の方が大きい。
- 平成 26 年における A 県の病院 1 施設当たりの病床数は、一般診療所(有床診療所)のその 10 倍以上である。
- 平成 24~26 年の間、いずれの年も、A 県の人口は 250 万人以上である。

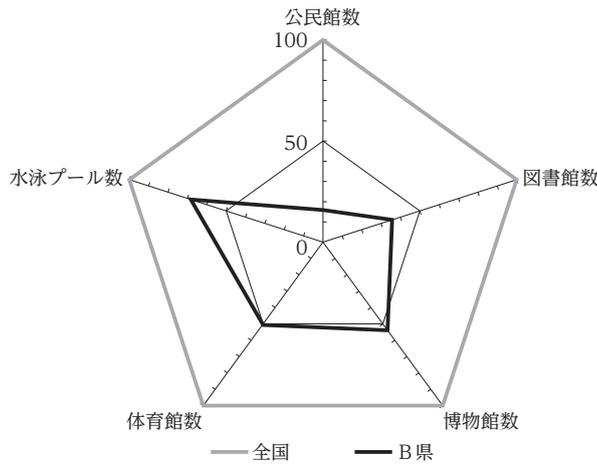
【No. 27】 図は、ある年における、A～D県の人口100万人当たりの社会教育施設数(ただし、全国におけるそれを100とする。)を示したものである。また、表は、同年のA～D県の全国総人口に占める人口割合を示したものである。これらから確実にいえるのはどれか。

図 人口100万人当たりの社会教育施設数

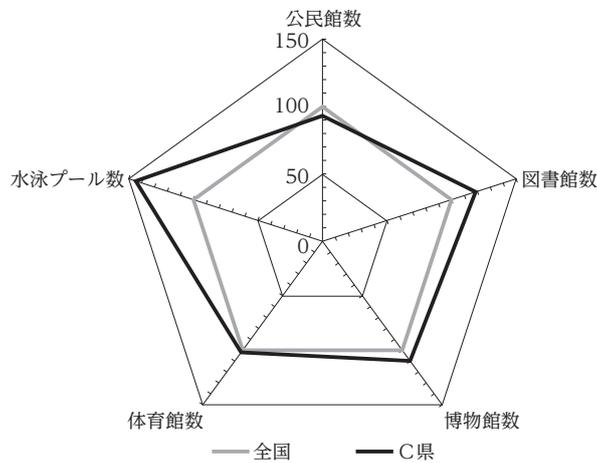
A県



B県



C県



D県

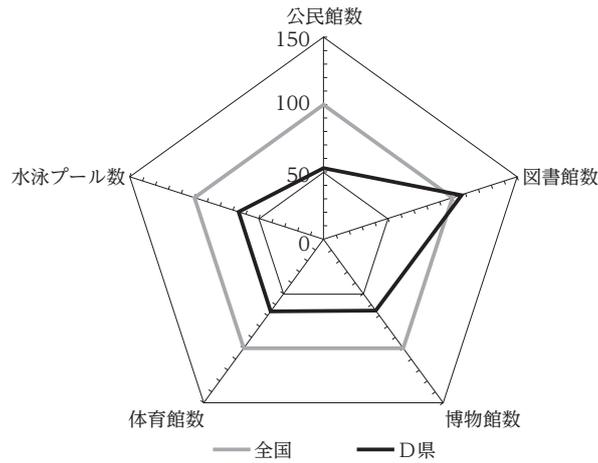


表 全国総人口に占める人口割合  
(単位：%)

A県	1.07
B県	7.09
C県	2.23
D県	1.10
全国	100.00

1. A県の体育館数は、B県のその2倍以上である。
2. 全国の水泳プール数に占めるC県のその割合は、5%以上である。
3. C県では、博物館数が公民館数を上回っている。
4. 公民館数、図書館数、博物館数の合計が最も少ないのは、D県である。
5. D県の図書館数は、A県のそれを上回っている。

【No. 28】 我が国における自然災害等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 我が国の周辺では、太平洋プレートやフィリピン海プレートが北米プレートやユーラシアプレートの下に沈み込んでいるため、地震活動が活発である。これらのプレート境界で発生する地震のほか、大陸プレート内部の地殻上部で発生する地震もあり、平成 28 年に発生した熊本地震は、甚大な被害をもたらした。
2. 我が国では、活火山を現在活発な噴気活動のある火山としている。政府は、平成 26 年の御嶽山の噴火を教訓に火山対策を見直し、全国 110 の活火山を常時観測火山に指定して 24 時間体制で監視している。平成 28 年には、周辺住民の避難が必要となる噴火警戒レベル 5 の噴火警報が浅間山と箱根山に対して出された。
3. 台風は、活発な乱層雲を伴う低気圧の渦で、北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、中心気圧が 990 ヘクトパスカル以下のものをいう。夏の後半から秋にかけては、オホーツク海高気圧の南下に伴って台風が我が国の付近を多く通るようになり、平成 28 年に発生した台風 10 号は、第二次世界大戦以降初めて東北地方に上陸した台風となった。
4. 夏には、シベリア高気圧から吹き出す寒気が、黒潮の影響により暖かく湿った空気となり前線付近に流入することで、発達した積乱雲による集中豪雨が多発する。平成 27 年に発生した関東・東北豪雨による災害では、地盤の液状化現象により鬼怒川の堤防が決壊し、広範囲の浸水が発生するなど多くの被害が生じた。
5. 政府は、地震、山火事等の自然災害に対する予防、復旧対策等の基本的な方針を示す、防災基本計画を定めている。平成 27 年には、「防災 4.0」未来構想プロジェクトが立ち上げられ、東日本大震災の教訓も踏まえ、官邸における緊急参集チームの設置など政府の初動体制の整備についても、新たに同計画に盛り込まれた。

【No. 29】 我が国の農業や食に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 産業構造の高度化により、農業など第1次産業や、運輸業など第2次産業の就業者割合が低下してきており、平成27年には、第3次産業の就業者割合が8割を超えた。農業の分野においては、担い手不足の状況を打開するため、第2次産業や第3次産業の企業でも参入することを可能とする、農業の6次産業化が進められている。
2. 食料自給率とは、国内の食料消費が国産でどの程度賅えているかを示す指標であり、重量ベースで算出する品目別自給率のほか、供給熱量(カロリー)ベースと生産額ベースの2通りの方法で算出する総合食料自給率がある。総合食料自給率は、長期的に低下傾向で推移しており、平成27年には、カロリーベースで40%以下となっている。
3. 主食であるコメについては、ウルグアイ=ラウンド以降、食糧管理制度を通じて政府による買入れが行われてきた。コメの価格は、国産より外国産の方が高い、逆ザヤと呼ばれる状態にあったが、東南アジア諸国連合(ASEAN)との経済連携協定(EPA)により、自主流通米を基本として、流通と価格形成が弾力化され、政府が部分的に管理することとなった。
4. 農林物資の規格化等に関する法律(JAS法)に基づき、消費者に販売される食品にJASマークの貼付及び食品表示が義務付けられている。平成27年には、機能性表示食品制度が新たに開始され、生産段階から最終消費段階まで、製品の流通経路が追跡可能となったほか、原産地等について、虚偽の表示をして販売した者に対する罰則規定が設けられることとなった。
5. 近年、所有者の死亡等による耕作放棄地が増加しており、各地の農業協同組合(JA)は、農地中間管理機構(農地集積バンク)を設立して耕作放棄地を借り受け、農地の集約化を行うことで、生産基盤の脆弱化を防いでいる。平成28年には、農地集積バンクとしての機能を強化するため、民間協同組織であったJAが第三セクターに転換された。

【No. 30】 国際的な会議や組織，協定に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2015年，初めての国連防災世界会議が，東日本大震災の発生を契機として宮城県仙台市で開催され，主要国の首脳を始め各国代表らが参加した。同会議は，自然災害のみならず，紛争被災者や難民など世界的な人道危機の効果的な支援を目的としており，2030年までの新たな国際的な防災の取組指針となる「仙台防災枠組」を採択した。
2. 2015年，アジアインフラ投資銀行(AIIB)の設立協定が調印された。AIIBはアジアのインフラ整備を目的として設立された地域開発金融機関の一つで，アジア，アフリカ諸国に加え米国等の計57か国が設立時から参加している。この設立に伴い，1960年代に日米主導で設立されたアジア開発銀行(ADB)は世界銀行に統合された。
3. 2016年，環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の署名式が行われた。複数の国による自由貿易協定は，このほかに北米自由貿易協定(NAFTA)などがある。TPP協定は，当初，ブルネイ，中国，メキシコ，シンガポールの4か国で交渉が開始され，我が国や韓国を含む12か国が協定に署名した。
4. 2016年，三重県志摩市で主要国首脳会議(サミット)が開催された。第1回サミットは，1975年に英国首相の提唱により，英国，フランス，旧西ドイツの3か国が参加して行われた。伊勢志摩サミット的首脳宣言には，経済，外交，環境対策などが盛り込まれ，地球温暖化対策の国際的枠組みであるウィーン条約について2016年中の発効を目指すことも確認された。
5. 2016年，国連では，潘基文事務総長の任期満了に伴う後任の事務総長の選出が行われた。今回の事務総長選出では，公開性，透明性を高めるため，総会において候補者との非公式対話が初めて行われ，その後，15か国で構成される安全保障理事会の勧告に基づき，総会によってアントニオ・グテーレス氏が事務総長に任命された。

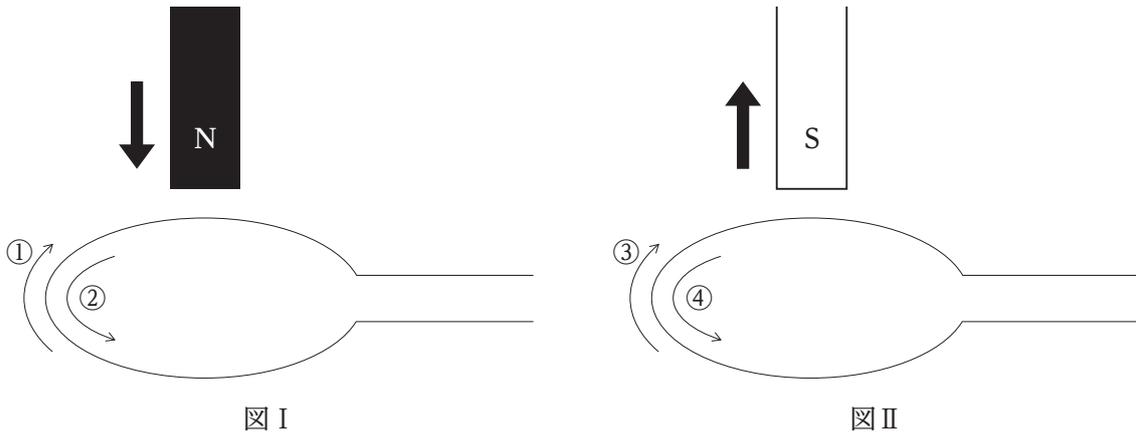
【No. 31】 次は、磁気に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

磁極にはN極とS極があり、同種の極の間には斥力、異種の極の間には引力が働き、磁気力が及ぶ空間には磁場が生じる。磁場の向きに沿って引いた線である磁力線は、 極から出て  極に入る。

また、電流は周囲に磁場を作り、十分に長い導線を通る直線電流が作る磁場の向きは、右ねじの進む向きを電流の向きに合わせたときの右ねじの回る向きになる。

以上の性質及びレンツの法則を用いて、次の現象を考えることができる。

図Iのように、水平面にコイルを置き、コイルに対して垂直に上方向から棒磁石のN極を近づけた。このときコイルには  の向きに電流が流れる。これは、コイルを貫く磁束の変化を妨げる向きの磁場を作るような電流が流れるためである。また、図IIのように、図Iと同じコイルに対して垂直に上方向へ棒磁石のS極を遠ざけたときは、 の向きに電流が流れる。



- |    | A | B | C | D |
|----|---|---|---|---|
| 1. | N | S | ① | ③ |
| 2. | N | S | ① | ④ |
| 3. | N | S | ② | ④ |
| 4. | S | N | ① | ③ |
| 5. | S | N | ② | ③ |

【No. 32】 化学結合や結晶に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. イオン結合とは、陽イオンと陰イオンが静電気力によって結び付いた結合のことをいう。イオン結合によってできているイオン結晶は、一般に、硬いが、外部からの力にはもろく、また、結晶状態では電気を導かないが、水溶液にすると電気を導く。
2. 共有結合とは、2個の原子の間で電子を共有してできる結合のことをいう。窒素分子は窒素原子が二重結合した物質で電子を4個共有している。また、非金属の原子が多数、次々に共有結合した構造の結晶を共有結晶といい、例としてはドライアイスが挙げられる。
3. それぞれの原子が結合している原子の陽子を引き付けようとする強さには差があり、この強さの程度のことを電気陰性度と呼ぶ。電気陰性度の差によりそれぞれの結合に極性が生じたとしても、分子としては極性がないものも存在し、例としてはアンモニアが挙げられる。
4. 分子結晶とは、共有結合より強い結合によって分子が規則正しく配列している結晶のことをいう。分子結晶は、一般に、電気伝導性が大きく、水に溶けやすい。例としては塩化ナトリウムが挙げられる。
5. 金属結合とは、金属原子から放出された陽子と電子が自由に動き回り、金属原子同士を結び付ける結合のことをいう。金属結晶は多数の金属原子が金属結合により規則正しく配列してできおり、熱伝導性、電気伝導性が大きく、潮解性があるなどの特徴を持つ。

【No. 33】 バイオテクノロジーに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ある生物の特定の遺伝子を人工的に別の DNA に組み込む操作を遺伝子組換えという。遺伝子組換えでは、DNA の特定の塩基配列を認識して切断する制限酵素などが用いられる。
2. 大腸菌は、プラスミドと呼ばれる一本鎖の DNA を有する。大腸菌から取り出し、目的の遺伝子を組み込んだプラスミドは、試験管内で効率よく増やすことができる。
3. 特定の DNA 領域を多量に増幅する方法として PCR 法がある。初期工程では、DNA を一本鎖にするため、 $-200^{\circ}\text{C}$  程度の超低温下で反応を行う必要がある。
4. 長さが異なる DNA 断片を分離する方法として、寒天ゲルを用いた電気泳動が利用される。長い DNA 断片ほど強い電荷を持ち速く移動する性質を利用し、移動距離からその長さが推定できる。
5. 植物の遺伝子組換えには、バクテリオファージというウイルスが利用される。バクテリオファージはヒトへの感染に注意する必要があるため、安全性確保に対する取組が課題である。

【No. 34】 我が国の 20 世紀前半の動きに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 1914 年に始まった第一次世界大戦はヨーロッパが主戦場となったため、我が国は参戦せず、辛亥革命で混乱している中国に干渉し、同大戦中に清朝最後の皇帝溥儀を初代皇帝とする満州国を中国から分離・独立させた。
2. 1917 年、ロシア革命によりアレクサンドル 2 世が亡命すると、ロマノフ王朝は崩壊し、世界で最初の社会主義国家が誕生した。その影響が国内に波及することを恐れた我が国は、米国と石井・ランシング協定を結び、米国に代わってシベリアに出兵した。
3. 1918 年、立憲政友会総裁の原敬は、陸・海軍大臣と外務大臣を除く全ての大臣を立憲政友会党員で占める本格的な政党内閣を組織した。同内閣は、産業の振興、軍備拡張、高等教育機関の拡充などの積極政策を行った。
4. 1920 年に設立された国際連盟において、我が国は米国と共に常任理事国となった。1933 年、国際連盟はリットン報告書に基づいて満州における中国の主権を認め、日本の国際連盟からの除名を勧告したため、我が国は国際連盟を脱退した。
5. 1930 年、浜口雄幸内閣は金の輸出禁止を解除したが、ニューヨーク株式市場の大暴落から始まった世界恐慌のため、我が国では猛烈なインフレが生じ、労働争議が激化した。そのため、同内閣は治安維持法を成立させ、労働争議の沈静化を図った。

【No. 35】 19 世紀のアジア諸国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 中国では、イギリスが支配するインドに中国産の茶を輸出し、インド産のアヘンを輸入する密貿易が盛んとなり、アヘン問題で対立したイギリスと清との間にアヘン戦争が勃発した。清は、兵力に勝るイギリスに敗北し、香港島とマカオを割譲させられた。
2. インドでは、イギリスが、ムガル帝国の皇帝を廃し、東インド会社を解散して、インドの直接統治に乗り出した。その後、ヴィクトリア女王がインド皇帝に即位して、イギリス領インド帝国が成立した。
3. 朝鮮は、長らく清とオランダの 2 国だけしか外交関係を持っていなかったが、欧米諸国は朝鮮に対し開国を迫るようになった。中でも、ロシアは、江華島事件を起こして朝鮮との間に不平等条約を締結し、朝鮮を開国させた。
4. 東南アジアでは、植民地支配を強めるイギリスとフランスとの対立が激しくなり、両国はベトナムの宗主権をめぐる軍事衝突を繰り返した。その結果、フランスはベトナムを保護国とし、隣国のタイを編入して、フランス領インドシナ連邦を成立させた。
5. 西アジアでは、オスマン帝国がロシア国内のイスラム教徒の保護を理由にロシアと開戦し、クリミア戦争が勃発した。イギリスとフランスは、ロシアの南下を阻止するため、オスマン帝国を支援したが、同帝国はロシアに敗北し、クリミア半島はロシア領となった。

【No. 36】 世界の諸地域に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：東南アジアは、アジアとヨーロッパの交易路に位置していたため、宗教や言語、芸術など様々な文化が流入してきた。交易の拡大とともにアラブ商人がもたらしたイスラームは、ミャンマーやマレーシアなどの国で広く信仰されている。また、欧米諸国から受けたキリスト教の影響も大きく、フィリピンではプロテスタントが普及している。

B：ヨーロッパでは、言語は主に、イタリア語やフランス語など南ヨーロッパを中心に用いられるラテン語派、英語やドイツ語など北西から西ヨーロッパにかけての地域で用いられるゲルマン語派、チェコ語やポーランド語など東ヨーロッパで用いられるスラブ語派に分けられる。また、古代ギリシャとローマの文化を受け継ぎ、キリスト教と深く結び付いた文化が発展した。

C：ラテンアメリカでは、16世紀にスペインとポルトガルを中心とするヨーロッパの人々が進出し、現在でも多くの国でスペイン語やポルトガル語が公用語とされている。また、労働力としてアフリカ系の人々が連れて来られたことで、先住民、ヨーロッパ系、アフリカ系の文化や伝統が融合して独特の文化となった。例えば、ブラジルのカーニバルやアルゼンチンのタンゴが挙げられる。

D：サハラ以南のアフリカは、19世紀末までに南アフリカ共和国を除くほぼ全域がヨーロッパ諸国の植民地となった。1960年代をピークに多くの国が独立したが、現在でも旧宗主国との経済・文化面のつながりを持っている国は多い。例えば、フランスの旧植民地であるガーナでは、主食にフランスパンが好まれ、公用語であるフランス語を話す人が多い。

1. A, B
2. A, C
3. A, D
4. B, C
5. B, D

【No. 37】 近現代の欧米の思想家等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. プラグマティズムを発展させたジェームズは、真理の基準は実生活に役立つという性質を持っているとする、真理の有用性という独自の理論を打ち立てた。さらにジェームズは、この実用主義の立場から宗教の価値を論じ、科学的な思考と宗教とを調和させようとした。
2. M. ヴェーバーは、近代社会においては、官僚制の原理に基づき、反理性的なものを日常生活から排除し、巧妙に管理する仕組みにより、人間を社会に順応させるための見えない権力が働いていることを明らかにした。また、合理化が進むことでそこから解放され、無気力化が抑制されるとした。
3. ハイデッガーは、フランクフルト学派の代表的な哲学者であり、人間は、誰もが日常生活の中で個性的で独自の在り方をしているとした。そして、世の中で出会う様々な他者に関わることで、人間が死への存在であるために生じる不安が解消され、環境によりよく適応することができるとした。
4. フロムは、ヒューマニズムに基づく社会変化の観察から、伝統指向型、内部指向型、他人指向型の三類型を立てた。現代では内部指向型が支配的であり、マスメディアで喧伝されるものにより人々が不安や孤独に駆られ、身近な仲間も否定するようになると指摘した。
5. ロールズは、社会全体の効用の最大化を目指す功利主義を主張した。自己の能力や立場などを知ることができない無知のベールがかけられた原初状態においては、より質の高い精神的快楽、すなわち献身の行為を追求すべきだという正義の原理を説いた。

【No. 38】 日本国憲法の基本的人権に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 憲法は、全て国民は法の下に平等であって、人種、信条、年齢、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されないと定めている。一方、男女の体力的な差に配慮して異なる取扱いをすることはむしろ合理的であることから、男女で異なる定年年齢を企業が就業規則で定めることには合理的な理由があり、憲法には反しない。
2. 教育を受ける権利を保障するため、憲法は、全て国民はその能力や環境に応じて等しく教育を受ける権利を有することや、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負うことを定めている。また、憲法は、後期中等教育を修了するまでの間、授業料や教科書等に係る費用を無償とすると定めている。
3. 経済の自由として、憲法は、財産権の不可侵や居住・移転の自由、職業選択の自由、勤労の権利等を保障している。経済の自由は、近代憲法が人々の経済活動を国家による介入から守るために保障してきたという伝統に基づいており、公共の福祉による制限は認められておらず、社会権やその他の新しい権利とは異なっている。
4. 刑事手続に関し、憲法は、被疑者や被告人の権利を守るため、令状主義、黙秘権、取調べの公開、弁護人依頼権など詳細な規定を設けている。しかし、殺人等の重大な事件については、裁判に慎重を期す必要があるため、有罪又は無罪の判決が確定した後でも、必要な場合には、同一事件について再び裁判を行うことができる。
5. プライバシーの権利は、憲法に明文の規定はないが、幸福追求権を根拠に保障されていると考えられている。プライバシーの権利については、私生活をみだりに公開されない権利などとされてきたが、情報化社会の進展等に伴い、自己に関する情報をコントロールする権利としても考えられるようになってきている。

【No. 39】 財政やその機能に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 財政とは、国が単独で行う経済活動をいい、その機能には、資源配分、所得再分配、景気調整、金融調節、為替介入の五つがある。例えば、景気を立て直そうとする場合に、景気調整と資源配分を組み合わせた財政政策が行われるが、これをポリシー・ミックスという。
2. 資源配分機能とは、電気、ガスなどの純粋公共財や、交通機関、通信回線などの公共サービスを政府が財政資金を用いて供給することをいう。例えば、政府は、電力会社や鉄道会社などに対して補助金を交付することで、全国一律の料金で同等のサービスが受けられるようにしている。
3. 所得再分配機能とは、資本主義経済では所得格差が発生するため、税制度や社会保障制度を通じて所得の均一化を図ることをいう。例えば、所得の多い人ほど一般に消費性向が高く、消費税による税負担の割合が重くなるという累進課税がこの機能の一つである。
4. 自動安定化装置(ビルト・イン・スタビライザー)とは、自動的に税収が増減したり、社会保障費が増減したりする機能である。例えば、景気の拡大期には、所得の増加に伴って個人消費が伸び、消費税による税収が増えることで積極的な財政政策を行わせ、景気を更に拡大させる。
5. 裁量的財政政策(フィスカル・ポリシー)とは、政府が公共支出や課税の増減を行うことで、有効需要を適切に保ち、景気循環の振幅を小さくして経済を安定させる政策である。例えば、不景気のときには、減税をしたり国債の発行によって公共事業を増やしたりする。

【No. 40】 発展途上国への援助等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 後発発展途上国とは、財政事情の悪化などにより、2000年まで発展途上国とみなされていなかった国のうち、それ以降に新たに発展途上国として国際連合から認定された国を指し、東南アジアの国々がその代表例として挙げられる。
2. 発展途上国援助に関連する組織として、発展途上国援助の調整を行う開発援助委員会(DAC)や、世界銀行加盟国の一部によって活動が開始され発展途上国の中でも最も貧しい国々を対象として支援を行う国際開発協会(IDA)がある。
3. 発展途上国と先進国との間の経済格差の問題を南北問題というが、近年では、発展途上国の中でも急速な経済成長を遂げた新興工業経済地域と、先進国との間で、発展途上国で産出される資源の獲得競争が問題となっており、これを南南問題という。
4. 先進国側の働きかけにより、国連貿易開発会議(UNCTAD)が設立され、先進国と発展途上国との間の貿易拡大などが協議されたが、発展途上国では、先進国からの輸入品に対し関税面で優遇する一般特惠関税が義務付けられたため、両国間の経済格差が拡大した。
5. 資源価格の高騰を背景に、欧州諸国に多額の資金を貸し付けていた中南米諸国では、1980年代に欧州諸国の一部が債務不履行の危機に陥ったことで累積債務問題が表面化し、救済策として債務繰延べなどが行われた。

平成29年度 一般職大卒程度試験  
基礎能力試験 正答番号表

問題	正答	問題	正答
1	4	21	3
2	4	22	3
3	5	23	2
4	5	24	5
5	3	25	1
6	5	26	4
7	2	27	5
8	2	28	1
9	4	29	2
10	3	30	5
11	1	31	3
12	4	32	1
13	2	33	1
14	4	34	3
15	3	35	2
16	4	36	4
17	3	37	1
18	5	38	5
19	2	39	5
20	1	40	2